

全日本学生柔道

Winter Challenge Tournament 2025

期間 2025年2月15日(土) 16日(日)

会場 天理大学杣之内第一体育館



伊藤大峰(桐蔭横浜大学3年)

100キロ級を制す!

全日本学生柔道 Winter Challenge Tournament 2025 は令和7年 2月 15日(土)16日(日)に天理大学杣之内第一体育館にて開催され、田村高校柔道部令和3年度卒業の伊藤大峰が 100 キロ級で優勝を飾った。本大会前身の 2014 年全国体育系学生柔道体重別大会 100 キロ級超級大和田巧(日本体育大学 田村高校柔道部平成 23 年度卒業)、2021 年全日本ジュニア柔道選手権大会 100 キロ級の鈴木直登(東海大学 田村高校柔道部令和元年度卒業)に次ぐ3人目の日本一となった。伊藤は1回戦シードで2回戦からの登場。開始16秒内股一本勝ちで快勝し勢いをつけた。3回戦は強豪東海大学の飯田選手。2分過ぎに肩車で有効を奪いそのまま危なげなく優勢勝ち。4回戦は寝技で仕留め、準々決勝は筑波大の桑原選手に GS4:58 秒、累積による反則勝ち。準決勝は国士舘大学横手選手。GS12:02 秒にも及ぶ死闘の末、小外掛けで一本勝ち。第一回大会の 81 キロ級杉山海(東海大学 田村高校柔道部平成 29 年度卒業)以来の決勝ヘコマを進めた。決勝戦は法政大学の小田選手。果敢に攻め相手に消極的指導を与える。GS5:10 秒に渾身の背負い投げが決まり一本勝ちで見事優勝した。

その他厳しい校内予選を勝ち抜き大会出場の田村高校 OB は 60 キロ級吉田晴平(桐蔭横浜大学3年)、73 キロ級渡辺匠(富士大学1年)、81 キロ級甲地来希(法政大学1年)、90 キロ級三浦瑠唯(富士大学3年)、100 キロ級並木優真(東北学院大学1年)、渡辺康成(山梨学院大学2年)、100 キロ級超級渡邊吉嘉(法政大学 1 年)、徳平晃大(国際武道大学1年)の伊藤を含め総勢9名が本大会に出場した。残念ながら入賞には届かなかったが本大会入賞選手との接戦、善戦の試合が目立ち令和7年度の学生大会での活躍が期待できる内容であった。田村高校の後輩も先輩の活躍に刺激を受け3月19日(水)20日(木祝)に日本武道館で行われる全国高等学校柔道選手権大会に向け残り一ヶ月更なる稽古を積みレベルアップを図る。

